



2027年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年7月21日

上場会社名 令和アカウンティング・ホールディングス株式会社 上場取引所 東
コード番号 296A URL <https://rw-ah.net>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 繁野 径子
問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員業務管理部長 (氏名) 田口 英亮 TEL 03 (3231) 1935
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2027年3月期第1四半期の連結業績（2026年4月1日～2026年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年3月期第1四半期	1,523	17.3	551	51.2	547	49.6	362	45.9
2026年3月期第1四半期	1,298	—	364	—	365	—	248	—

(注) 包括利益 2027年3月期第1四半期 375百万円 (47.9%) 2026年3月期第1四半期 254百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2027年3月期第1四半期	9.68	—
2026年3月期第1四半期	6.53	—

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
2. 当社は、2025年3月期第1四半期については四半期連結財務諸表を作成していないため、2026年3月期第1四半期の対前年同四半期増減率については記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年3月期第1四半期	3,527	2,302	63.9
2026年3月期	4,035	2,685	65.4

(参考) 自己資本 2027年3月期第1四半期 2,254百万円 2026年3月期 2,640百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年3月期	—	12.50	—	20.00	32.50
2027年3月期	—	—	—	—	—
2027年3月期（予想）	—	13.00	—	20.00	33.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2027年3月期の連結業績予想（2026年4月1日～2027年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	2,920	10.0	878	7.0	875	6.3	575	1.9	15.37
通期	6,300	10.4	2,160	8.7	2,160	8.3	1,440	1.3	38.50

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無
新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料 7 ページ「四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記）」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2027年3月期1Q	37,500,000株	2026年3月期	37,500,000株
② 期末自己株式数	2027年3月期1Q	97,000株	2026年3月期	97,000株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2027年3月期1Q	37,403,000株	2026年3月期1Q	38,000,000株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績等の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因によって大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項については、（添付資料）2 ページ「1. 経営成績等の概況（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	5
四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)	7
(セグメント情報等の注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	7
(四半期連結貸借対照表に関する注記)	7

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

文中の将来に関する事項は、当第1四半期連結累計期間の末日現在において判断したものであります。

当第1四半期連結累計期間における日本経済を取り巻く環境は、インバウンド需要の増加等により緩やかな回復が続くことが期待される一方で、アメリカ・イスラエルのイラン攻撃による原油を中心としたエネルギー価格の高騰をはじめとして、各国の政策動向や円安・為替変動、中東・ウクライナなどの地政学リスク、物価上昇などによる景気への影響懸念など、依然として先行き不透明な状況が継続しております。

一方で、会計業界では、企業における人材不足や会計業務の高度化・複雑化を背景に、外部専門家に対する支援ニーズが一段と高まっております。さらに、資本コストや株価を意識した経営が求められるなか、企業価値向上を目的とした組織再編等に対する専門性の高いコンサルティング需要も底堅く推移しております。

こうした環境のもと、当社グループは主力のコンサルティング事業において、継続安定成長とさらなる高付加価値化に向けた積極的な取り組みとあわせて、AI等のテクノロジー活用を含んだ生産性向上も継続して推進しております。潜在的に存在している業務の消化能力を前年よりアップさせる目標を掲げ取り組んだ結果、案件の消化スピードが向上しております。また、システム開発子会社である株式会社ミラクル経理において、AI資産判定ソリューション「ミラクルX」は大企業クライアントを中心に順調にサービス提供を拡大し始めており、新たなシステムの開発も進めております。当社のコンサルティングに係る実務知見とAIを融合した新たな事業展開が、当社グループ内の生産性向上と外部へのサービス提供の両面で本格的に機能し始めております。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の経営成績は、売上高1,523,261千円（前年同期比17.3%増）、営業利益551,563千円（前年同期比51.2%増）、経常利益547,084千円（前年同期比49.6%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益362,108千円（前年同期比45.9%増）となりました。

なお、当社グループは「コンサルティング事業」を報告セグメントとしており、その他の事業（教育・派遣事業、システム開発事業）については量的重要性が乏しいため、セグメント情報の記載を省略しております。

(2) 当四半期の財政状態の概況

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は2,890,113千円となり、前連結会計年度末に比べ527,055千円減少いたしました。これは主に剰余金の配当により現金及び預金が420,236千円減少したことによるものであります。固定資産は636,938千円となり、前連結会計年度末に比べ18,457千円増加いたしました。これは主にソフトウェア開発により無形固定資産が26,751千円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は、3,527,051千円となり、前連結会計年度末に比べ508,598千円減少いたしました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は1,224,214千円となり、前連結会計年度末に比べ125,713千円減少いたしました。これは主に法人税等の納税により未払法人税等が202,915千円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は、1,224,214千円となり、前連結会計年度末に比べ125,713千円減少いたしました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は2,302,837千円となり、前連結会計年度末に比べ382,884千円減少いたしました。これは利益剰余金が親会社株主に帰属する四半期純利益により362,108千円増加、剰余金の配当により748,060千円減少したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は63.9%（前連結会計年度末は65.4%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期連結会計期間において引き続き効果が現れている生産性の向上は恒常的なものであり、年度を通じて波及効果をもたらすものと考えておりますが、その効果が明確になった時点でより確度の高い数値をお知らせするため、現時点では、2027年3月期の第2四半期（累計）及び通期業績予想について2026年4月22日付で公表いたしました「2026年3月期 決算短信」の第2四半期（累計）及び通期の連結業績予想に変更ありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	※1 2,380,724	※1 1,960,488
売掛金	949,984	849,123
貯蔵品	1,869	2,970
前払費用	84,180	75,882
その他	5,974	7,307
貸倒引当金	△5,565	△5,660
流動資産合計	3,417,168	2,890,113
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	74,143	74,745
減価償却累計額	△31,869	△33,419
建物及び構築物（純額）	42,273	41,326
工具、器具及び備品	110,865	111,086
減価償却累計額	△76,946	△79,899
工具、器具及び備品（純額）	33,918	31,186
リース資産	34,359	34,359
減価償却累計額	△29,959	△31,677
リース資産（純額）	4,399	2,682
有形固定資産合計	80,592	75,194
無形固定資産		
ソフトウェア	5,517	59,446
ソフトウェア仮勘定	58,044	30,658
その他	1,067	1,276
無形固定資産合計	64,630	91,381
投資その他の資産		
投資有価証券	738	500
敷金	245,609	243,499
繰延税金資産	208,375	208,371
その他	18,536	17,991
投資その他の資産合計	473,259	470,362
固定資産合計	618,481	636,938
資産合計	4,035,650	3,527,051

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
負債の部		
流動負債		
リース債務	5,699	3,737
未払金	147,097	141,017
未払法人税等	387,409	184,493
未払消費税等	130,120	112,300
契約負債	13,276	21,258
預り金	※1 651,985	※1 750,177
その他	14,338	11,228
流動負債合計	1,349,928	1,224,214
負債合計	1,349,928	1,224,214
純資産の部		
株主資本		
資本金	100,000	100,000
資本剰余金	977,100	977,100
利益剰余金	1,635,787	1,249,835
自己株式	△77,309	△77,309
株主資本合計	2,635,578	2,249,626
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△8	—
為替換算調整勘定	4,498	5,084
その他の包括利益累計額合計	4,490	5,084
非支配株主持分	45,653	48,126
純資産合計	2,685,722	2,302,837
負債純資産合計	4,035,650	3,527,051

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2025年4月1日 至2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2026年4月1日 至2026年6月30日)
売上高	1,298,334	1,523,261
売上原価	604,486	637,463
売上総利益	693,847	885,798
販売費及び一般管理費	328,981	334,234
営業利益	364,865	551,563
営業外収益		
受取利息	2	6
雑収入	1,096	678
営業外収益合計	1,099	685
営業外費用		
支払利息	56	22
為替差損	0	—
支払手数料	—	5,011
雑損失	106	130
営業外費用合計	163	5,164
経常利益	365,802	547,084
税金等調整前四半期純利益	365,802	547,084
法人税、住民税及び事業税	111,112	172,766
法人税等合計	111,112	172,766
四半期純利益	254,690	374,318
非支配株主に帰属する四半期純利益	6,425	12,209
親会社株主に帰属する四半期純利益	248,264	362,108

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2025年4月1日 至2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2026年4月1日 至2026年6月30日)
四半期純利益	254,690	374,318
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△7	8
為替換算調整勘定	△516	1,673
その他の包括利益合計	△524	1,681
四半期包括利益	254,165	375,999
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	248,075	362,702
非支配株主に係る四半期包括利益	6,089	13,297

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税金等調整前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等の注記)

当社グループは、「コンサルティング事業」を報告セグメントとしており、その他の事業（教育・派遣事業、システム開発事業）については量的重要性が乏しいため、セグメント情報の記載を省略しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自2025年4月1日 至2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2026年4月1日 至2026年6月30日)
減価償却費	8,843千円	10,102千円

(四半期連結貸借対照表に関する注記)

※1

前連結会計年度（2026年3月31日）

現金及び預金のうち592,610千円はH S K事業承継支援株式会社の東京都と金融機関とが連携して実施する事業承継支援事業に係る補助金であります。東京都から受領した補助金を、取扱金融機関との間で締結する預託契約書に基づき預託しており、東京都からの預り金として計上しております。

当第1四半期連結会計期間（2026年6月30日）

現金及び預金のうち592,610千円はH S K事業承継支援株式会社の東京都と金融機関とが連携して実施する事業承継支援事業に係る補助金であります。東京都から受領した補助金を、取扱金融機関との間で締結する預託契約書に基づき預託しており、東京都からの預り金として計上しております。